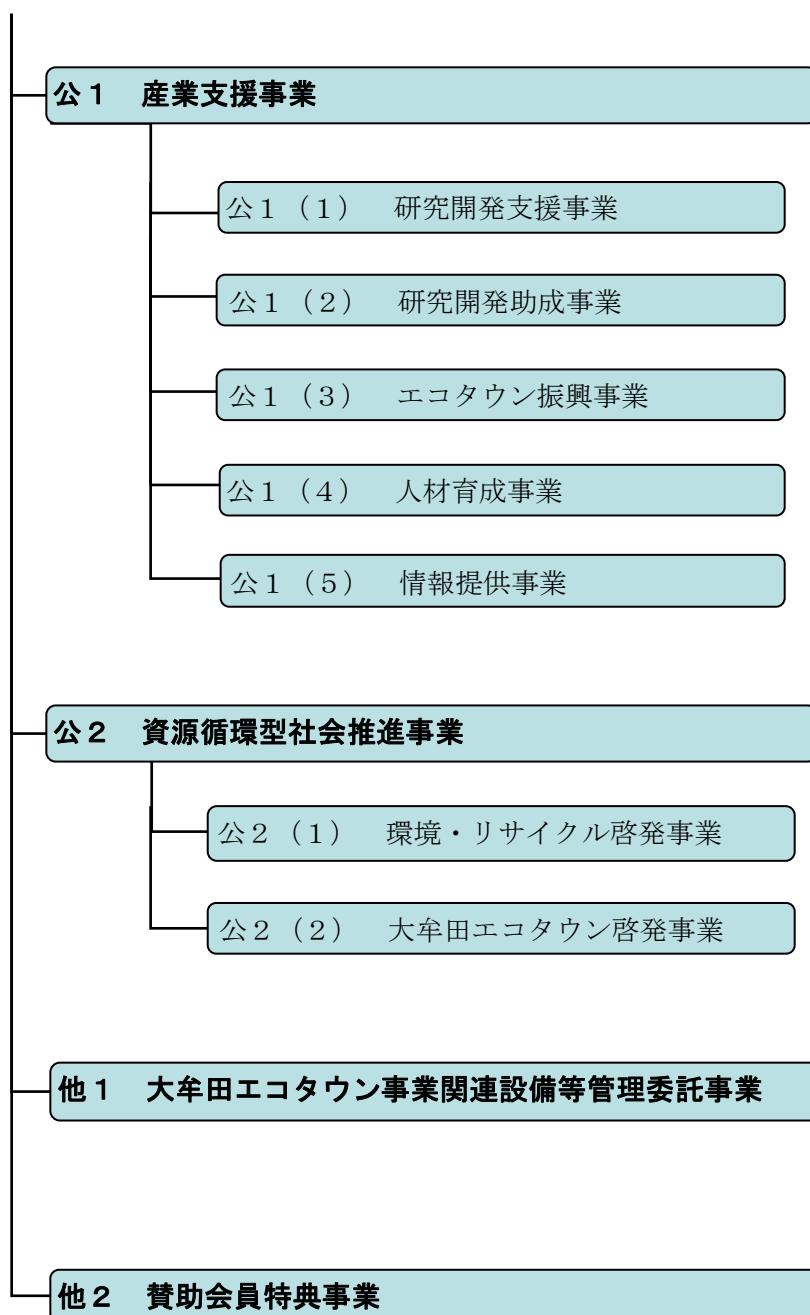


平成 30 年度 事業 報告

体 系

大牟田市地域活性化センター



事業

公1 産業支援事業

公1-(1) 研究開発支援事業

①技術アドバイザー支援事業

企業の技術課題解決に向けた相談対応や、新事業展開及び新製品開発等に関する補助制度の紹介や、補助事業の採択及び経営力向上計画等の認定に向けた申請支援等を行った。

【実施期間】 平成30年4月1日～平成31年3月31日

【配置人員】 技術アドバイザー（2名）

訪問企業数	相談支援件数	支援概要
243社（延べ）	82件	<ul style="list-style-type: none"> ・技術開発に関する支援 6件 ・補助金申請に関する支援 30件 ・その他相談に関する支援 46件

（参考）補助金申請支援 採択状況概要 ※他のアドバイザー等事業分も含む

・大牟田市ものづくり企業技術開発支援助成金（補助上限1件当たり3,000千円）

採択企業	事業概要
大福商事(株)	脱酸素剤自動投入装置の導入による大牟田名物「かすてら饅頭」等のさらなる業容拡大
とらや菓舗	機械導入による品質向上、販路拡大、新商品開発
(株)セイケン	リードフレームの積層作業用「間紙挿入装置」による作業効率の改善
(株)日高合金	高品位アルミ鋳物製造法の開発

・経済産業省<H29年度補正分>革新的ものづくり・商業・サービス開発支援補助金

採択企業	事業概要
(株)カネヤス	ソルトアイシング凍結機による有明海産物の加工食品の拡大と事業の拡大
(株)日高合金	高品位アルミ鋳物製造のための鋳造および工程管理設備の導入
(有)亀屋	丸坊露絞り機（パサン機）新規導入による製造工程改善と生産力向上
土俵うどん	冷凍うどん麺製造・外販のための真空包装及び急速冷凍設備等の導入
(株)川島製作所	乾燥海苔の全自動異物除去装置の開発
松尾産業(株)	試作を終えた宿泊施設向け備品盗難監視装置、及び管理システムの構築／サービスの提供
(株)松正	花ごぞ敷物一貫生産に伴う内製加工設備導入による生産プロセスの改善。
(株)タカイシ	真空タンブラーとIoT対応自動充填包装システムの導入による「百年麴からあげ」の生産性向上と事業の新展開

信和ミート	多様化する中・外食業界ニーズに対応する生産体制構築事業
(有)大牟田エコクリーン	高品質の紙分を製造する剥離紙選別装置の導入
ユニオンFBC(株)	高速・高精密ワイヤ放電加工機導入による高生産性プロセスの確立

・経済産業省 サービス等生産性向上IT導入支援事業

採択企業	事業概要
オギハラ食品株式会社	販売管理システム導入
株式会社日高合金	業務管理ソフト導入

・福岡県 グリーンアジア国際戦略総合特区中小企業設備投資促進補助

採択企業	事業概要
株式会社日高合金	グリーンアジア総合特区認定企業に供給する産業用ロボット用部品製造用に向けた新たな高品位アルミ鋳物の製造および管理設備の導入

・独立行政法人国際協力機構 中小企業海外展開支援事業

採択企業	事業概要
中島物産(株)	ファインバブル装置を使った自然調和型養殖技術の普及

・経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業（H28年度採択事業の継続）

継続採択企業	事業概要
トータルケア・システム(株)	紙おむつ焼却量の削減および処理料金低減を目的とした、紙おむつ由来プラスチックの脱塩素処理技術等による、紙おむつの完結型マテリアルリサイクルプラントシステムの開発
I&Tニューマテリアルズ(株)	電池の大容量化、充放電速度の高速化及び高サイクル特性並びに低コスト化を目的とした、アルミニウム繊維を集電体として用いた革新的リチウムイオン電池の開発

・福岡県リサイクル総合研究事業化センター 研究会（H28年度採択事業の継続）

継続採択企業	事業概要
(有)大牟田エコクリーン・メタウォーター(株)・(公財)大牟田市地域活性化センター	微粉炭汚泥をフッ素溶出防止材として利用した廃石膏由来地盤改良用固化材の開発

②産学連携コーディネーター支援事業

新技術、新製品開発のための産学官連携支援等を行った。

【実施期間】 平成30年4月1日～平成31年3月31日

【配置人員】 産学連携コーディネーター（1名）

訪問企業数	相談支援件数	支援概要
104社(延べ)	24件	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品、新技術の開発に関する支援 2件 ・学術研究機関等との連携に関する支援 4件 ・地域内外の企業間連携に関する支援 12件 ・地域の企業からの相談、その他に関する支援 6件

③取引拡大アドバイザー支援事業

受発注情報・製品情報のデータ活用及び関係機関等との連携を図り、取引拡大に係る取引先の紹介・斡旋等を行った。

【実施期間】 平成30年4月1日～平成31年3月31日

【配置人員】 取引拡大アドバイザー（2名）

訪問企業数	相談支援件数	取引に係る支援概要
237社(延べ)	68件	<ul style="list-style-type: none"> ・成 立 15件 ・継 続 1件 ・不成立 8件

④産学官連環交流会の開催

地域企業の技術革新等の進展を目的に、基調講演のほか、学術研究機関による産学連携の取組み事例の発表等を行った。

【日時】 平成31年2月8日（金）13：30～18：40

【会場】 ホテルニューガイアオームタガーデン

【概要】

内 容	参加者
<p>【基調講演】</p> <p>「平成維新期のビジネスチャンス！」 ～先端テクノロジーは地方都市、中小規模企業のビジネスの概念を大きく変える！～ ナレッジネットワーク株式会社 代表取締役 森戸 裕一 氏</p> <p>【シーズ&事例発表】</p> <p>①「溶液構造を意識した単分散セラミック球の精密ものづくり」 有明工業高等専門学校創造学科 教授 榎本 尚也 氏</p> <p>②「地方再生を担う新エネルギー」 ～竹を燃料としたバイオマスボイラーの実現～ 福岡大学工学部機械工学科 助教 麻生 裕之 氏</p> <p>③「超高齢社会におけるサルコペニア／フレイルの克服を目指して」 帝京大学福岡医療技術学部看護学科 学科長 池田 久雄 氏</p> <p>【制度説明】</p> <p>①経済産業省九州経済産業局地域経済部産業技術課 ②福岡県商工部中小企業技術振興課 ③大牟田市産業経済部産業振興課</p> <p>【懇親会】</p>	105名

公1-(2) 研究開発助成事業

地域企業の振興を目的に、技術開発・研究開発を進める企業の掘り起こしを行い、本活性化センター助成事業を実施した。また、大牟田市が実施する「大牟田市ものづくり企業技術

開発支援事業」の広報、審査、進捗確認などの事業運営に対し支援を行った。

(補助上限1件当たり1,000千円)

採択企業	事業概要
KMアルミニウム(株)	砂型鋳物製作用の砂材料変更による産業廃棄物削減 ※平成29年度からの2か年事業の2年目として実施

公1-(3) エコタウン振興事業

大牟田エコタウンにおける新産業創出のための諸事業を総合的かつ効率的に推進することにより、地域の活性化に資することを目的として、エコタウン振興基金を原資(現在規模:約40,000千円)として、技術及び製品の開発や、エコタウン及びその周辺地域の環境保全に資する事業等に対し、補助を行うまたは自ら行うものである。

30年度は、事業案件がなかった。

公1-(4) 人材育成事業

地域企業や研究者等の技術向上、人材育成等を目的に、大牟田市、大牟田商工会議所及び三池貿易振興会等と連携し、次のセミナー、講座を実施し、または共催した。

開催日	内 容	参加者
8月22・23日 9月 4・ 5日	I S O 9 0 0 1 内部監査員養成講座	58名
10月10日	経済セミナー 「日本活力を上げる海外での発信方法と具体策」	60名
10月18・19日 11月 8・ 9日	I S O 1 4 0 0 1 内部監査員養成講座	63名
12月 4日	クラウドファンディングセミナー	17名
1月24・25日	品質管理セミナー	25名
2月 7日	貿易実務講座	51名
2月21日	H A C C P 研修会	39名

公1-(5) 情報提供事業

①「財団だより」の発行

当活性化センターが実施した研究開発支援事業や助成事業等の各種事業を取りまとめ、市内公共施設に設置するとともに、企業に向けて情報発信した。

また、市民向けにイベント概要等も同様に市内公共施設に設置し情報発信した。なお、市民向け財団だよりは、市内小学校全児童にも配布した。

企業向け	市民向け
1,000部	7,000部

②「元気企業だより」の発行

素晴らしい技術やユニークなアイデア等を持って、地域経済の活性化に向け頑張っている企業5社を採り上げ、1社ごとに当活性化センターホームページに掲載するとともに、市内中学校へ印刷物として10部程度を配布し情報発信した。

また、本年度に採り上げた5社分を取り纏めた元気企業だよりは、市内公共施設に設置するとともに、市内中学3年生、市内高校及び有明工業高等専門学校（専攻科含む）の全生徒・全学生に配布した。

また、採り上げた5社には、FMたんととの番組に出演（事前取材）を依頼し、情報発信した。

紹介企業	テ ー マ
九州車輛販売(有)	“時代の先を読む” 取り組みで、不動の地域 No.1 店！！
室町ケミカル(株)	決して平坦でなかった… 紆余曲折を乗り越え “創立 100 周年！”
(株)四郎國光	およそ 230 年前 江戸は田沼意次の時代から続く刀匠一門が大牟田に！！
(有)パン・ド・ミー	地元の人で賑わう人気店には “笑顔が集まる” 理由があった！！
(株)アスカインデックス 九州テクニカルセンター	中古装置に新たな命を吹き込み、顧客満足度 100%プラスαをめざすアスカインデックス！！

③ホームページ等による情報提供

「環境リサイクルe 情報おおむた」、「活性化センターHP」を随時更新し、また、活性化センターが事務局を務める各種協議会等の会員や賛助会員等をメーリングリストとして取り纏め、各種助成金制度の紹介やイベント情報等を提供した。

	H29年度	H30年度
HPアクセス件数	24,945件	36,707件
メーリングリストによる発信件数	—	59件

④地域企業のPR

大牟田市や大牟田商工会議所等と連携し、各種イベントに参加し企業紹介を行った。

開催日	イベント	概 要
10月10～12日	エコテクノ 2018 (北九州市 西日本総合展示場)	大牟田エコタウン立地企業紹介等
10月21日	三井化学オオタムフェスタ	産学連携事例の企業紹介

公 2 資源循環型社会推進事業

公 2-(1) 環境・リサイクル啓発事業

①おもしろ科学教室の開催

自然環境やリサイクル、ものづくり等に興味を持つ契機とすることを目的に、小学生を対象として、デンカ(株)と連携して科学教室を開催した。

開催日	内 容	参加者
8月25日	光るスライム、瞬間シャーベット作り	95名 (保護者41名)

②親子わくわく環境講座の開催

資源や環境の大切さについて学習することを目的に、大牟田市環境部と連携して環境講座を開催した。

開催日	内 容	参加者 (保護者含む)
7月25日	植物でアートに挑戦！ 夏の草花たたき染め	24人
8月9日	親子で楽しくエコキャンドル作り	38人
8月17日	里山からの贈りもの ～ランプシェード作り～	78人
8月18日	かわレンジャー ～身近な水辺探検隊～	20人

公2-(2) 大牟田エコタウン啓発事業

①エコタウンフェアの開催

大牟田エコタウンの紹介及び環境、科学、物づくりに関する啓発を目的に、有明工業高等専門学校や環境団体等と連携して開催した。

期 日	内 容	来場者
11月18日	<p><体験></p> <ul style="list-style-type: none">・ポンポン船づくり&タイムレース (有明高専)・スライムづくりとマイペットボトルづくり (デンカ株)・エコイズ&発電競争 (環境部) <p><工作></p> <ul style="list-style-type: none">・ペン立て付カードスタンドづくり・ウォールポケットづくり・モイストポプリづくり (株トキワビル商会)・学童イス製作 ((公社)大牟田市シルバー人材センター) <p><紹介></p> <ul style="list-style-type: none">・大牟田エコタウンパネル展示・産学連携事例パネル展示 (福岡大学大牟田産学連携推進室)・電動アシスト自転車試乗 (九州車輛販売有)・体成分分析器で測定 (有明乳業)・浄化槽展示と水の測定体験 (一社)有明環境整備公社・環境部・大牟田市動物園クイズ (西日本メンテナンス株) <p><イベント></p> <ul style="list-style-type: none">・グリーンカーテンコンテスト表彰式等 (環境部)・フリーマーケット、ステージイベント、スタンプラリー等・物産・飲食物販売	3,500名

他1 大牟田エコタウン事業関連設備等管理事業

大牟田市からエコタウン事業用地内の共益設備維持管理業務を受託し、下水道ポンプや調整池等の適正な維持管理を行った。

対象施設	下水道ポンプ施設、海水取水ポンプ施設、洪水調整池 等
------	----------------------------

他2 賛助会員特典事業

当活性化センターの目的に賛同する法人83社より年会費1万円を受領し、合計額の60%を公益目的事業、その余を特典事業等に使用した。

①公益目的事業

環境リサイクルに関する市民意識の向上、環境にやさしいまちづくりに寄与することを目的に、「公2 資源循環型社会推進事業」に使用した。

②特典事業

・情報提供事業

各種セミナーの開催や研究開発助成の公募情報等をメール配信するとともに、併せて当活性化センターのHP等にて賛助会員（企業）をPRした。

また、会員交流会を開催し情報交換を行った。

加えて、交流会開催時に行ったアンケート等を基に次のワークショップ、勉強会を実施した。

ア．会員企業による提案型ワークショップ

イ．人材確保（外国人実習制度の活用）に向けた勉強会

・研修等助成

賛助会員が、技術向上を目指した有料の講習会等へ参加する場合、年間5,000円を上限として参加費を助成するもので、1件の助成を行った。

・施設利用助成

賛助会員が、エコサンクセンターを利用する場合、年間3,000円を上限として利用料を助成するもので、助成申請はなかった。

管理費（法人会計）

当活性化センター事務を適正かつ円滑に執行した。

事業報告の附属明細書

事業報告の内容を補足する重要な事項に該当するものはない。